

ぶうげんびりあ11月 No.1

2018年 11月号 No.233 <http://www2.synapse.ne.jp/ainohamaen>

編集・発行 障害者支援施設 愛の浜園
奄美市名瀬大字知名瀬2504
TEL: 54-8011 FAX: 54-8012

幾度となく猛烈な台風が通過した今年、天気、気温とも落ち着き始め、奄美でもようやく秋を感じる事が出来るようになってきました。そんな中、10月末にクルーズ船の「にっぽん丸」が長浜港に来航し、入港時には島唄や花火で豪華に出迎えていました。このような豪華客船は最近奄美には多数来航し、日本のみならず海外の観光客も増えてきています。マイナーだった奄美大島が、世界遺産登録の動きをしていく中で、少しずつ世界から注目されてきているのをとても嬉しく、誇らしく感じています。奄美に住む私達は、今後も「世界に誇れる奄美大島」をしっかり盛り上げて行きたいと思えます。(副主任:名島)

11月行事予定表

- 1日(木): 体重測定・血圧測定
- 4日(日): 知根小学校学習発表会参加
- 8日(木): インフルエンザ予防接種
- 14日(水): 職員研修(看取りについて)
- 15日(木): 職員研修(リハビリ)
- 17日(土): 男性理髪
- 18日(日): 感謝祭
- 22日(木): 職員研修(腰痛予防)
- 28日(水): 健康相談

**クリスマス 忘年会は
12月6日(木) 予定です**
詳細は後日お知らせいたします。

お誕生日の皆さん



神田 和秋さん 朝谷 テツ子さん



盛 重和さん 宝田 元気さん

三賞受賞者

(努力賞)

- 塩崎 幸子さん・・・テレビ観賞やドライブ中に景色を眺める等、顔を上げる事が増え、また、支援員とコミュニケーションを取り、園生活を楽しくしています。
- 光 優輔さん・・・歯科治療を落ち着いて受けることが出来ました。
- 定原 たず子さん・柳 輝美さん・・・食器を下膳する事が出来ました。
- 島本 誠さん・・・耳鼻科受診を落ち着いて受けることが出来ました。
- 宝田 元気さん・境 秀行さん・榮 敏郎さん・叶 絹代さん・政 みさ子さん
仁島 紀寿さん・酒井 真希さん・隈元 利彦さん・徳 朋裕さん・森 樹子さん
森山 義範さん・森山 麻季亜さん・岡山 いずみさん・田畑 栄さん
・・・ゆうあいスポーツ大会の練習を頑張りました。

(親切賞)

- 稲田 吉浩さん・・・お友達のシーツ交換を手伝ってくれました。
- 竹田 美喜子さん・・・毎朝、挨拶を待っているお友達に優しく挨拶してくれます。

就労継続支援B型事業 ~パッションフルーツ~



写真は現在(11月1日)のパッションフルーツのビニールハウスです。例年だと10月10日前後にパッションフルーツの苗木を定植するのですが、今期は9月29日に襲来した台風24号の被害で天井ビニールやパイプに破損が生じ、植え付けが大幅に遅れています。今年、夏の収穫は量、売り上げ共に、これまでで最高の数字になったのですが、来年の収穫に不安が残ります。やっぱり、自然の力にはかなわないなあと感じながら、それでも、利用者、職員、力を合わせて作業に励んでいます。(記事:小元)

グループホームフレンド ~心踊る時間~

10月13日(土)、フレンドにて利用者さん2名とおやつ作りを楽しみました。「お料理をやってみよう」と言う利用者さんの声があり、1ヶ月間相談し、今回はホットサンドを作る事になりました。殻が入らないように卵を割って薄焼き卵を作ってみたり、初めて包丁を持ちドキドキしながら出来上がったホットサンドを切ったり・・・と2時間に渡って、楽しみながらのおやつ作りが出来たと思います。他のフレンド利用者さんも、出来上がった焼きたてのホットサンドを食べ「美味しかった!」とわざわざ伝えにきてくれ、とても喜んでいました。現在、フレンドではグラタンやカルポナーラ・島料理の「いも天」など、フレンド単独のメニューも取り入れています。今後もフレンドの利用者さんの声を聴きながら、フレンドならではの様々な取り組みが出来たらいいなと考えています。(記事:財部)



知根小学校運動会に参加しました

10月1日(月)、台風24号の影響で一日遅れの開催になりましたが、台風一過の青空の下、今年も知根(ちね)小学校の運動会に参加してきました。利用者さんが児童の皆さんと一緒に競技する大玉転がしでは海からの強風で玉が流されないか心配しましたが、児童の皆さんが風下からしっかりサポートしてくれた事もあり、殆どのペアが順調に競技を進めていました。知根小学校は児童数11名の小さな学校という事で、児童の皆さんだけでなく、保護者や先生方も選手になったり係りになったりと出番も多く、さらに、地域の方も参加して応援するなど、自分の子供や孫だけではなく、みんなでみんなを応援しており、学校と地域が一体となった運動会だなあと感じました。競技に出たり応援したりと楽しい時間を過ごす事ができました。(記事:大田)



職員作業

愛の浜園では、定期的に職員作業の時間を設け、環境整備を行っています。10月8日(月)の職員作業は、台風24号の後であった為、知名瀬集落のゴミ拾いや園内、園周辺の片づけを行いました。台風24号は名瀬港の高さ11メートルもある灯台が無くなっていたり、屋根が飛んだり奄美全域で多くの被害が出ました。愛の浜園でも体育倉庫が全壊したり、車のガラスが割れたり多くの被害がありました。集落のゴミ拾いをした際にも潮風でいろいろなものが飛んできていたり、木が折れたりして、台風の猛威を感じました。作業が終わる頃には、園周辺に落ちていた落ち葉や折れた木もきれいに掃除され、本館に咲いているブーゲンビリアも剪定し、スッキリとしました。また、潮風で曇った居室の窓ガラスや壁、室外機も洗われ、台風のどんよりとした雰囲気もなくなり、空気が澄んだように感じました。これから寒くなり、外に出るのが億劫になる季節ですが、園内や周辺がきれいだと気持ちも明るくなるので、園内や周辺の環境整備にも目を向けながら、皆で、過ごしやすい愛の浜園にしていきたいと思えます。(記事:富田)



第5回 愛の浜園 感謝祭

いつもまえてくれている皆さんへ感謝を込めて
今年も愛の浜園の感謝祭を開催します。

平成30年11月18日(日)
時間 9:30~12:00
場所 愛の浜園

- * 陶芸販売
- * 手工芸品、野菜、苗販売
- * フリーマーケット
- * 体験コーナー
- * お茶コーナー
- * ゲームコーナー など...

みなさんのお越しをお待ちしております。



第26回 大島地区ゆうあいスポーツ大会

No.2

繋げよう！走れ！進め！今こそ魅せる島んちゅ魂！ ～平成最後の熱い思い～

「選手！入場」、この声が、奄美市名瀬運動公園(三儀山陸上競技場)に響きわたり、第26回大島地区ゆうあいスポーツ大会(知的障害者のスポーツ大会)がスタートしました。大島群島内にある12事業所550名以上の利用者、職員が参加し、協力団体、ご家族、会場の観客も含めると、650名以上の大きな大会になりました。開会式では、榮野園長の開会宣言後、上空に鳩が舞い、会場から歓声が沸きました。また、朝山 毅(奄美市)市長の来賓の挨拶を始め、たくさんの激励の言葉をもらい、大会に花を添えて下さいました。競技種目では、50m走、100m走、ディスタンス、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、アキュラシー5m、7mが行われ、交流種目では水入れ、応援合戦、30m走、総踊りが行われました。今回は、1～3位までの賞状はもちろん、愛の浜園の陶芸で作ったメダルも贈呈しました。幹事園である私たち愛の浜園は、この大会でひとりでも多くの人に喜んで笑顔になってもらいたい気持ちで取り組んできました。また、私たちだけではできない運営を大島郡陸上連盟、奄美看護福祉専門学校の学生、小宿中学校吹奏楽部の生徒、他、たくさんの団体の方々が御協力下さりました。私たち幹事園は、このようにたくさんの皆さんに支えられながら、平成最後のこの大会を終える事ができました。来年の幹事施設は星窪さきりです。来年も「みんなの笑顔が花になりますように…」(記事:辻原)

参加賞への思い 今回の大島地区ゆうあいスポーツ大会では、出場した利用者さんに、参加賞としてうちわを贈呈しました。そのうちわには、色々な思いが詰まっています。財部栄養士、富田相談員を中心にアイデアやデザインを考え、うちわに描いた木や「絆」の文字は、榮野園長が描き、その木の周りの花は、利用者、職員が、指で押した色鮮やかな個性あふれる印です。「みんなの笑顔が花になる。」の文字は、豊田事務員の味のある字を採用し、うちわに思いを込めました。そのひとつひとつの花の笑顔が会場を包み、色とりどりの輝く花になりますように…。そんな思いで作成したうちわです。うちわをもらった会場のみんなが、その思いを感じ、喜んで頂けると、とても嬉しいです。



陶芸メダルへの思い 皆さん、ご存知でしたか？陶芸のメダルを大島地区ゆうあいスポーツ大会で贈呈したのは今回が初めてじゃないことを…。私の記憶によると、二十数年前に、愛の浜園が陶芸のメダルを贈呈していた事を覚えています。それを今年、愛の浜園の幹事園という事で、榮野園長を中心に企画を行い、就労日の利用者さんや職員が一つ一つ丁寧にメダルを完成させました。賞状とメダルで笑顔も2倍になるといいな。そんな思いがこの陶芸のメダルは込められています。



みんなの笑顔が花になる

